

## 続けることの大切さ

少しこの話になりますが、右の記事は新聞に紹介された本校の12月に実施した避難所運営訓練「リアルHUG」の記事です。学校だよりNo.39、No.40で取組内容を紹介しています。

この防災学習は熊本大学くまもと水循環・減災研究センター減災型社会システム部門からアドバイスを受けて行っています。この避難所運営訓練のあと、熊本大学大学院先端科学研究所の竹内先生から「避難所初動運営キット」をいただきました。



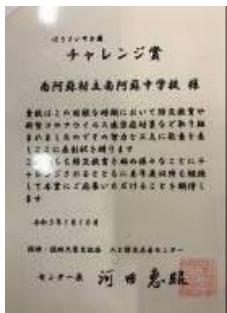
### (避難所初動運営キット)



(中に入っているもの)

これは熊本地震直後の避難所で困ったことを調査した熊本大学の竹内先生たちが、「あれがあればよかった」という反省を次の災害時に生かそうと開設からの3日間に必要な25の道具と知恵を詰め込んだものです。「案内標識」に使う用具等、電源タップ・電池・懐中電灯等、45リットルのポリ袋、ロープやテープ等が入っています。

また、コロナ禍で人の移動が制限されていますが、全国中学生・高校生防災会議(リモート会議)に2年生3名の代表生徒が参加しました。兵庫県で行われた「ぼうさい甲子園」にも本校の取り組みをまとめて応募しました。これからもこれらの資料を活用し、いろいろな活動に取り組みながら生徒が学校や地域において主体的に取り組む防災教育を進めていきます。



## 3年生は高校入学試験等が始まりました。

がない学校もありますが、面接のある学校を受験予定の人で希望者には1人あたり5～6回の面接の練習を複数の先生がしました。休み時間を削って該当のみなさんは面接の練習を続けてきました。本日で終わりましたが、受験日までまだ時間がありますので「まだ練習したい。」という人は希望の先生に直接申し出てください。さすがに6回目の面接になると本人の言いたいことや意欲が面接官に伝わるようになります。

今年の3年生は国公市私立高校等全部合わせると35校を受験します。また、試験の一番早い人は1月14日(木)に受験が終わっています。「緊張して頭の中が“真っ白”になったけど、練習をしていたから面接で話せた。」とか「緊張したけど勉強をしていたので、問題を見たら解答が書けた。」と試験が終わった生徒が話していました。これから本番を迎える人もいます。

合い言葉「あまびえ」で志望校合格を目指しましょう。

「あ」……あきらめない！

「ま」……まわりの人と協力する！(まわりの事を考える！)

「び」……病気にならない！（病気を乗り越える！）（病気とうまく付き合う！）

「え」……栄光をつかむ！